

## 《小橋 拓弥 Guitar》



ギタリスト,作曲家

2012年洗足学園音楽大学ジャズコースに入学, 2016年夏にバークリー音楽大学に留学。  
自己の楽曲がアメリカの Unsigned Only Music Competition にてセミファイナルリストに  
選ばれる。

2021年ファーストアルバム「Imaginary Story」を Apollo Sounds にてリリース。

自身のバンド「Don kururi」がサッポロシティジャズ PARK JAZZ LIVE CONTEST 2022  
最優秀賞を受賞。2024 シンガポールジャズフェスティバル 「Jazz in July」出演。

## 《類家 心平 Trumpet》



青森県八戸市に生まれる。小学校のブラスバンドでトランペットと出会う。高校卒業後海上自衛隊音楽隊でトランペットを担当。退官後に上京し高瀬龍一氏にジャズトランペットを師事。2004年 SONYJAZZ からジャムバンドグループ「urb」でデビューする。その後「菊地成孔ダブセクステット」や「DC/PRG」に参加しフジロックフェスティバル等の出演で注目を集める。

自身の名義では「RS5pb」でアルバムをリリース、海外のジャズフェスティバルからも招待を受け高い評価を得る。ピアニスト中嶋錠二とのデュオのアルバムもリリース。また岡本太郎記念館で収録したソロパフォーマンスによる作品をリリース。

アニメと映画版の「坂道のアポロン」ではトランペットの吹き替えを担当する。ギタリスト大友良英率いるバンド ONJQ ではヨーロッパや中華人民共和国のツアーに参加し各地で好評を得る。

従来のトランペットの持つ音の出し方に加えエアリーなトーンやフリーキーなトーンも自由に操りジャズからアーバンギャルドな音楽、セクションワークからフリーインプロビゼーションまで多彩な活動を繰り広げる。

## 《Atori Yuki Bass》



1994年2月10日生まれ。兵庫県神戸市、千葉大学出身。Ibanez Bass Guitar, Markbass 公式アーティスト。

第45回山野ビッグバンドジャズコンテストにて明治大学BSSOで出場、優秀ソリスト賞を受賞。

2024年放送のテレビ朝日「EIGHT-JAM」にて「今最も注目する若手ベーシスト」としてKenKenから紹介された。同年フランスの『Bassiste Magazine』において「世界のベース・インフルエンサー15人」のひとりに選出された。

2025年には2025年日本国際博覧会の開会式音楽（長谷川白紙/作曲）に参加。同年ベース・マガジン8月号(Summer)特集企画：「[NEO-GENERATION] テクニカル新時代の到来」で特集記事を掲載される。

同年ベース・マガジン2025年11月号(Autumn)にて、「Ibanez / SR Prestige 2025 Series feat. Yuki Atori [動画対応]」で特集される。アイバニーズSRの最新4モデル弾き比べの記事はBass Magazine Web記事にも掲載。また、ベース・マガジン公式YouTube Channelにて実演動画も公開。またIbanez Official YouTubeにSR Prestige SR5505の公式演奏動画が公開される。

インスタグラムではRHCPのFlea氏を初め、幅広いジャンルの有名海外ミュージシャンからフォローされ、フォロワー数は10万人を超える。

## 《山崎 隼 Drum》



2001年愛知県生まれ。デキシーランドジャズバンドでトランペットを吹く父、ドラムを演奏する母の影響を受け、3歳よりドラムを始める。9歳でライブ活動を開始。

中学在学時より、ラテン音楽やブラジル音楽を中心に世界各地の民族音楽に関心を持ち、独自の研究を重ねるとともに、多くの師から学びを得る。また、名古屋の老舗ジャズクラブ「Mr.Kenny's」のマスターでありギタリストでもある倉谷明氏の紹介により、様々なジャンルのミュージシャンとの共演を重ねる。

2017年、全国学校軽音楽部協会主催コンテストにてベストプレイヤー賞を受賞。2018年、尚美ミュージックカレッジ主催「高校生ソロプレイヤーズコンテスト2018」にて最優秀賞を受賞。

高校在学中より全国各地で演奏活動を展開し、アルバム参加やテレビ出演など活動の幅を広げる。2021年に活動拠点を東京へ移し、ジャンルを問わず、セッションドラマー、スタジオミュージシャン、パーカッショニストとして活動。

YAMAHA、Meinl エンドーサー。